

東九州自動車道

はじまる・ひろがる 循環高速・新時代 ↗

—北九州～大分～宮崎が高速道路でつながる—

官営八幡製鐵所旧本事務所（北九州市）
〔H27.7.5／世界文化遺産登録〕

なりつねかぐら
成恒神楽（福岡県上毛町）



さいとぼるこふんぐん
西都原古墳群（宮崎県西都市）

宇佐神宮（大分県宇佐市）

椎田南IC ⇄ 豊前IC 平成28年4月24日（日） 開通

東九州自動車道開通のあゆみ

平成28年4月24日（椎田南～豊前IC開通）

東九州自動車道は、九州の東側において福岡県北九州市を起点とし、大分・宮崎の各県を結び、鹿児島県鹿児島市に至る計画延長約436kmの高速自動車国道です。

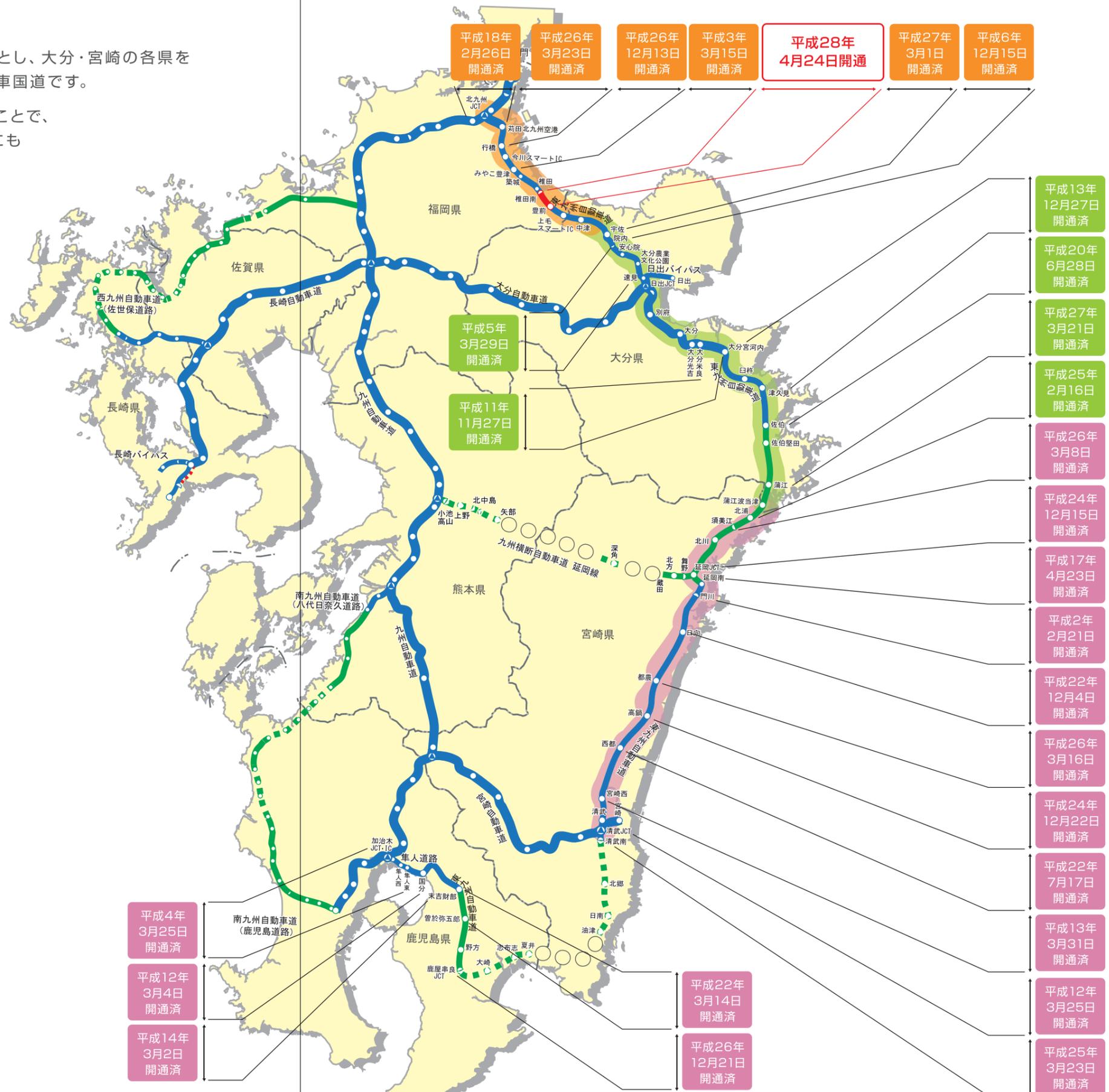
東九州地域を含め新たな九州の循環型ネットワークを形成することで、人や物の流れがスムーズになるほか、地域の文化と経済の発展にも大きく貢献していきます。

計画延長 約436km	開通延長 約352km (平成28年4月末時点)
----------------	--------------------------------

椎田南IC付近



豊前IC付近



東九州自動車道沿線の紹介



北九州

門司港発祥 焼きカレー
ご飯の上にカレーとチーズと玉子をのせてオーブンで焼いた焼きカレー。現在、20店舗以上のお店で味わうことができる。

北九州

門司港ちゃんら〜
うどんの和風ダシにチャンポン麺を入れ、もやしをトッピングしたもので、現在も約10件の食堂やレストランなどで味わうことができる。

福岡東部

とよみつひめ
いちじくはミネラルや食物繊維が豊富。果育成の「とよみつひめ」は、糖度が高く、果肉が肉厚で、なめらかな触感が特徴です。

福岡東部

上毛バーガー
30年以上続く老舗の唐揚げ店「からあげ聖林」が「村のパン屋・SAN」のパンと地元食材にこだわって開発したご当地バーガー。ハート形のパンでラブなUPにも一役買うかも。

大分

中津からあげ
醤油や塩をベースに、ニンニク・ショウガなどの調味料を使いタレに漬込んだものが多く、「からあげの聖地」だからこの味がそう。

大分

地獄蒸し
常に噴出する温泉の蒸気を利用して食材を蒸し上げる調理法。蒸気で蒸しあげるので旨味が逃げず、温泉の滋味も付加されて味わい深い。

宮崎

高千穂峡
阿蘇溶岩の浸食でできた渓谷。高い断崖絶壁が約7kmにわたって続き、崖から落ちる真名井の滝がシンボリック的存在。春の新緑や秋の紅葉の時期は特に美しい景観が楽しめる。

宮崎

馬ヶ背
日向岬の先端に位置する、太平洋の荒波が作った70mの柱状節理の断崖絶壁。馬の背のように見えることが名前の由来。岬から見える太平洋のパノラマも圧巻の景色！

東九州自動車道沿線 観光情報提供ホームページ

ぐるリッチ!北Q州

福岡観光光連盟

ツーリズムおおいた

みやざき観光コンベンション協会

北九州

工場夜景
「日本七大工場夜景」のひとつに数えられる工場夜景。「北九州夜景観賞定期クルーズ」では、幻想的な光景を船上から堪能できる。

北九州

門司港レトロ
明治の後半から横浜、神戸と並ぶ国際貿易港として栄えた門司港は、今も当時の面影を残すレトロな建物が数多く立ち並び、歴史とロマンがあふれる市内屈指の観光スポット。

北九州

世界文化遺産 官営八幡製鐵所 旧本事務所
製鐵所の中枢を担う事務所として明治32年(1899年)完成。現在も稼働中の製鐵所敷地内にあるため、一般非公開だが特設スペースから見学可能。

福岡東部

森林セラピー(豊前市)
リラックス効果が森林医学の面から専門家に実証され豊前市が森林セラピー基地として認定。健康増進やリラックスを目的とした様々なプログラムが用意されている。

福岡東部

旧蔵内邸(築上町)
明治～昭和初期まで筑豊地方を中心に炭坑を経営した蔵内家三代にわたる本家住宅。近代和風建築、近代庭園として規模や内容とも極めて優れている。

福岡東部

京築神楽
個性豊かで、里の暮らしや大自然の恵みに活かされ生きることへの感謝を根底に据えた里心の伝承。京築地区には30を超える神楽団体が現存。

大分

国宝白杵石仏
平安時代後期から鎌倉時代にかけて彫刻されたと言われ、その規模と数量、彫刻の質の高さにおいて日本を代表する石仏群。平成7年に唐崖伝では全国初、彫刻としては九州初で国宝に指定。

大分

高崎山自然動物園・大分マリンパレス水族館「うみたまこ」
野生のニホンザルの群れが交代するシーンを間近で観察でき、隣接する水族館「うみたまこ」では、セイウチやイルカなどのショーを家族で楽しめる。

大分

宇佐神宮
全国に4万社あまりある八幡様の総本宮。「八幡造」の本殿は神社建築の代表例として国宝に指定されている。

宮崎

青島
「鬼の洗濯板」と呼ばれる波状岩に囲まれた小島。島内にある神社はピロウなどの亜熱帯植物が生い茂り、南国情緒豊か。近くの亜熱帯植物園も2016年3月リニューアルオープン!

宮崎

鶏戸神宮
日向灘が間近に迫る断崖に佇み、洞窟の中に朱塗りの御本殿がご鎮座する珍しい神社。縁結びや安産などの御利益があるとされる。本殿前には亀石が投げて「運玉」も人気。

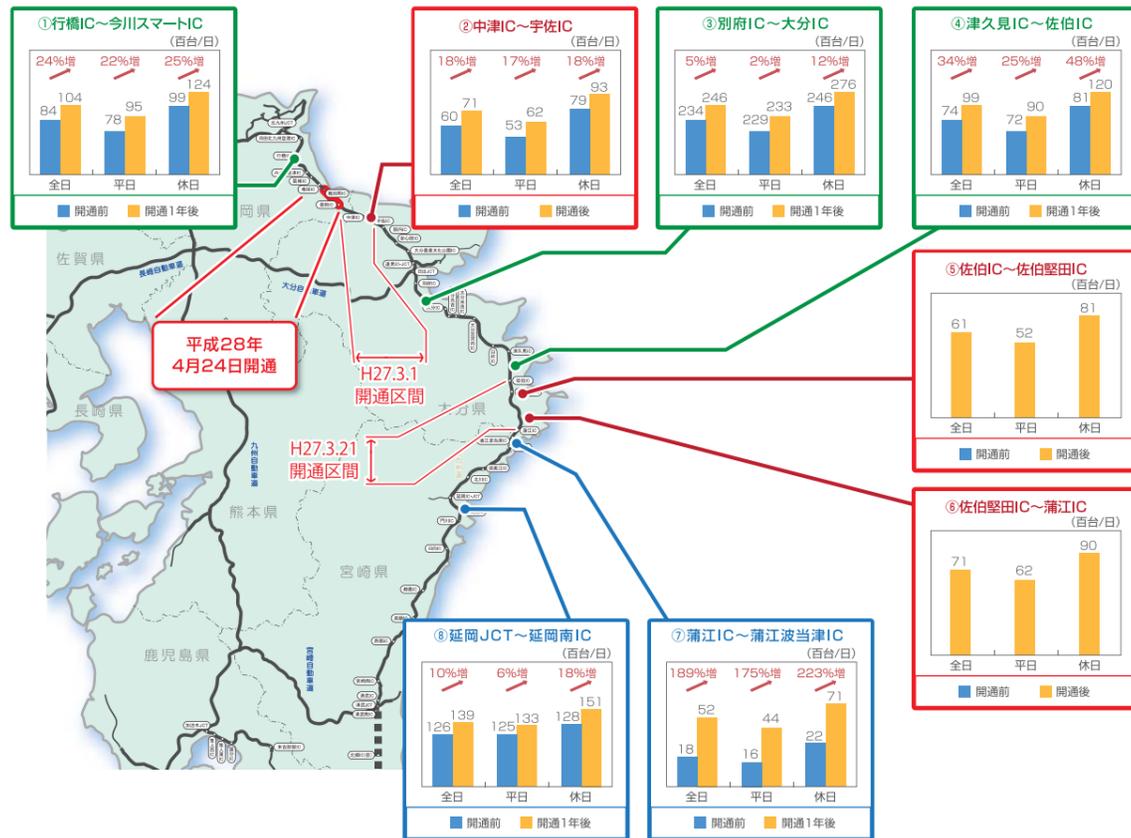
宮崎

生駒高原
霧島連山をバックに、春は菜の花やアイスランドポピー、夏はサルビア、秋はコスモスなど、大スケールの花畑が広がる高原。キャンプや花火などの夜のイベントもおすすめ。

東九州自動車道の利用交通量が1割以上増加

開通1年後の交通状況（東九州道）

■東九州道の利用交通量が、多くの区間で増加



IC区間	開通前(断面交通量) H27.2.21～3.20			開通後(断面交通量) H28.2.21～3.20			増減率		
	全日	平日	休日	全日	平日	休日	全日	平日	休日
北九州JCT～苅田北九州空港	15,600	15,600	15,300	17,800	17,800	17,800	+14%	+14%	+16%
①行橋～今川スマート	8,400	7,800	9,900	10,400	9,500	12,400	+24%	+22%	+25%
今川スマート～みやこ豊津	8,100	7,400	9,600	9,900	8,900	11,900	+22%	+20%	+24%
築城～椎田	10,700	9,900	12,700	12,100	10,900	14,800	+13%	+10%	+17%
豊前～上毛スマート	4,200	3,600	5,900	5,100	4,300	7,000	+21%	+19%	+19%
上毛スマート～中津	4,400	3,800	6,300	5,500	4,600	7,400	+25%	+21%	+17%
②中津～宇佐	6,000	5,300	7,900	7,100	6,200	9,300	+18%	+17%	+18%
宇佐～院内	9,600	8,900	11,400	10,400	9,200	12,900	+8%	+3%	+13%
③別府～大分	23,400	22,900	24,600	24,600	23,300	27,600	+5%	+2%	+12%
④津久見～佐伯	7,400	7,200	8,100	9,900	9,000	12,000	+34%	+25%	+48%
⑤佐伯～佐伯堅田	---	---	---	6,100	5,200	8,100	--	--	--
⑥佐伯堅田～蒲江	---	---	---	7,100	6,200	9,000	--	--	--
⑦蒲江～蒲江当津	1,800	1,600	2,200	5,200	4,400	7,100	+189%	+175%	+223%
北浦～須美江	2,800	2,600	3,100	6,100	5,400	7,800	+118%	+108%	+152%
⑧延岡JCT～延岡南	12,600	12,500	12,800	13,900	13,300	15,100	+10%	+6%	+18%
延岡南～門川	10,200	9,800	11,100	11,300	10,500	13,000	+11%	+7%	+17%

※1:開通前:H27.2.21(土)～H27.3.20(金)の平均値 ※2:開通後:H28.2.21(日)～H28.3.20(日)の平均値
※3:交通量は交通量計測装置によるデータを速報値として記載(百台単位)

東九州自動車道沿線市町の企業立地、増設件数が、約8倍!

地域経済を支える企業が續々進出

■東九州道沿線の市町村では、東九州道の延伸や東九州道の開通に伴ってH21年から約530企業(うち製造業関連55%)が進出。今後、更なる企業進出が期待されます。
■新たに約1.1万人の雇用が創出され、約4,100億円を新規投資。

H21年以降の企業立地・増設件数



宮崎県(企業立地課)

・東九州道開通により、物流における本県の優位性が高まり、東九州道沿線地域では企業立地が増加しています。

※ヒアリング調査 H28.2

宮崎県(産業振興課)

・東九州開通を契機に豊前市に北部九州フロンティアオフィスを設置、北部九州の自動車産業への県内企業参入をサポートしており、現在4社について取引が始まっています。

※ヒアリング調査 H28.2

宮崎県製造関連企業の声

・日向市に2009年に進出しました。
・また、2015年に工場の増設を行い、約10名新規雇用者を採用しました。

※日向市進出企業へのヒアリング調査 H28.2

東九州道沿線市町の企業立地・増設件数

H21年から約8倍に増加(九州平均:約6倍(H26/H21)※)



新規雇用者数

H21年から約1.1万人の雇用を創出



新規投資額

H21年から約4,100億円の新規投資



■資料:東九州道沿線21市町ヒアリング調査

フェリー利用者が約1割増加

広域的な観光連携の強化

- 東九州道開通を契機として、四国との観光連携を強化する取り組みも実施され、四国からのフェリー利用者（乗用車）が増加し、昨年度より約1割増加。今後、更なる増加が期待されます。
- 観光シーズンのGW・SW・秋の行楽・キャンプシーズンの月に大きく増加。

道の駅

[沿線の道の駅の観光客も増加]



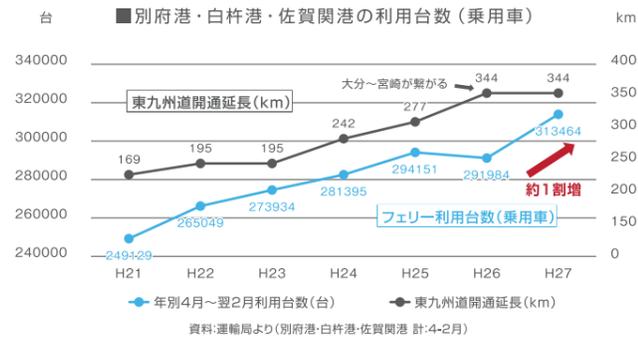
取組 [九州と四国の観光の取り組みも活発に]

- 大分県・宮崎県の観光キャラバン隊が愛媛県へ観光PR (H27.2)



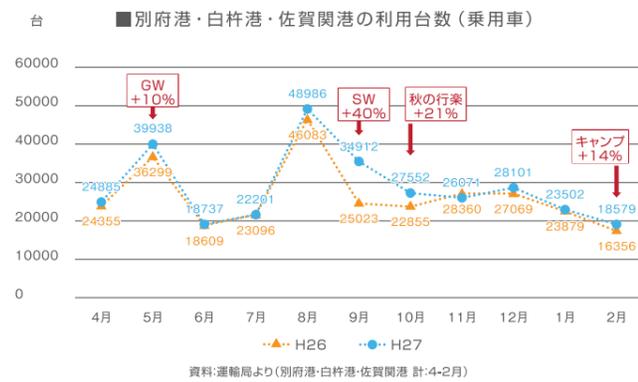
利用者数

[東九州道の整備とともに、フェリー利用者（乗用車）も堅調に増加!]



月変動

[GW・SW・秋の行楽・キャンプシーズンの月に大きく増加]



- 延岡市とフェリー会社が連携した観光キャンペーン実施 (H28.3)

ひむか共和国に泊まって、1,000円ゲットしよう!

宮崎県北部 フェリー利用者宿泊費助成キャンペーン

先着200名

宇和島運輸フェリー・九四オレンジフェリーで八幡浜⇄臼杵航路をご利用いただき、ひむか共和国(宮崎県北部地域)内の宿泊施設を1泊以上宿泊ご利用いただいたドライバーに1,000円を助成します。

ひむか共和国とは・・・
延岡市、日向市、門川町、諸塚村、権葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の宮崎県北部の9市町村で構成。

出荷の生産性が向上し、出荷量が約2割増加

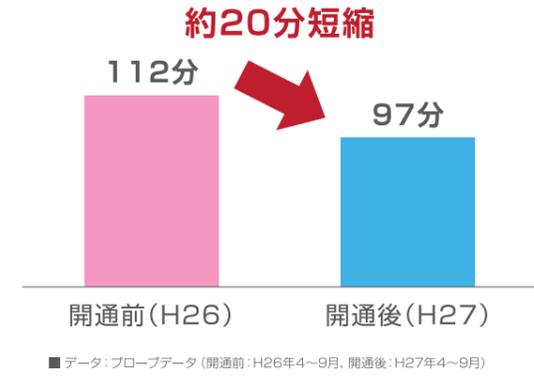
輸送時間短縮により出荷の生産性が向上

- 東九州道の開通により、佐伯市蒲江から大分空港までの所要時間が約20分短縮。
- 輸送の効率化が図られ、養殖サバの梱包作業時間が増えたため、出荷の生産性が向上。

佐伯産養殖サバの関東への輸送



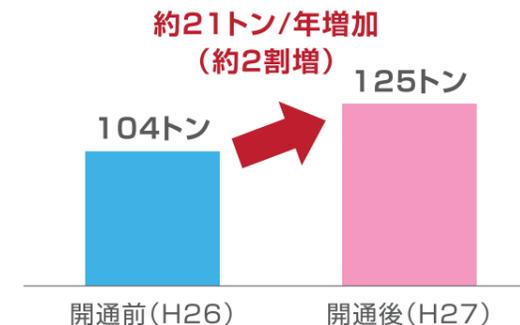
佐伯市蒲江～大分空港間の所要時間



養殖サバ(源サバ)



養殖サバの出荷量 (大手水産会社1社の出荷量)



※開通前:H26年4月~12月、開通後:H27年4月~12月

輸送会社の声

- ・東九州道開通前は、飛行機に間に合わないことがあり、福岡空港から運ぶこともありました。
- ・開通後は、空港までの安定した輸送が可能となり、輸送効率が上がりました。

■輸送会社ヒアリング調査 H28.2

水産会社の声

- ・養殖サバを関東へ当日配送するため、大分空港から空輸しています。
- ・関東の需要が増えており、また東九州道の開通で輸送時間が約20分短縮されたことで、梱包作業時間が増え、出荷量が増えました。

■水産会社ヒアリング調査 H28.2

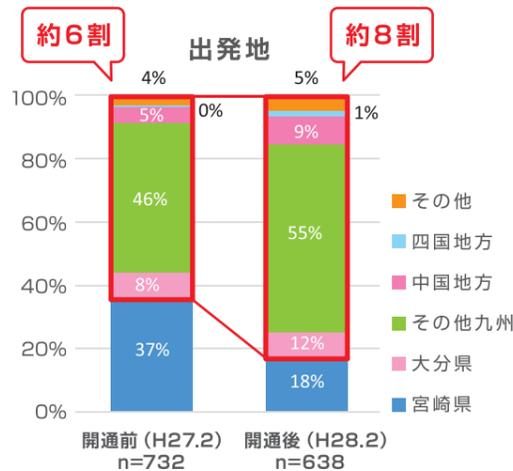
キャンプ見学者の県外比率が約2割増加

キャンプ来訪者が広域化!

- 東九州道の開通により、キャンプ見学者が広域化（県外客が6割⇒8割に!）
- 東九州道利用者の約7割が、開通が“きっかけ”で来訪。

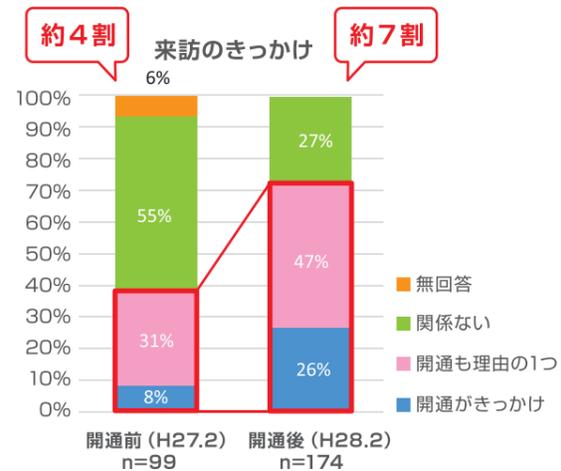
来訪者の出発地

県外客が6割⇒8割にアップ



来訪者のきっかけ

7割の人が東九州道を一因に!



資料: キャンプ地ヒアリング調査結果 [開通前]H27.2 [開通後]H28.2

資料: キャンプ地ヒアリング調査結果 [開通前]H27.2 [開通後]H28.2

賑わうキャンプ場 (アイビースタジアム)



キャンプ見学者の声

大分からジャイアンツを観に来たのですが、東九州道を使って時間に余裕が出来たので、ソフトバンクも観て帰れます。

県外客の増加で、入込客数が約2割～3割増加

特産品を活かした地域おこしを支援!

- 延岡水郷鮎やなや東九州伊勢えび海道などの食のイベントでは、県外客が増加し売上高や入込客数が過去最高を記録。

延岡水郷鮎やな

県外からのバスツアーの誘致などに取組み、高速開通効果もあって過去最高の来場者を記録。*延岡市観光協会H28.2



延岡水郷鮎やな

▼ 延岡水郷鮎やなの売上高 (10～12月)、入込客数

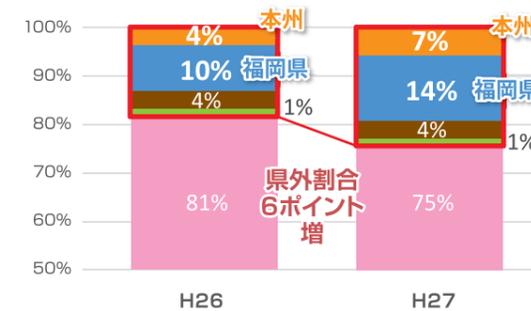


資料: 延岡観光協会

東九州伊勢えび海道

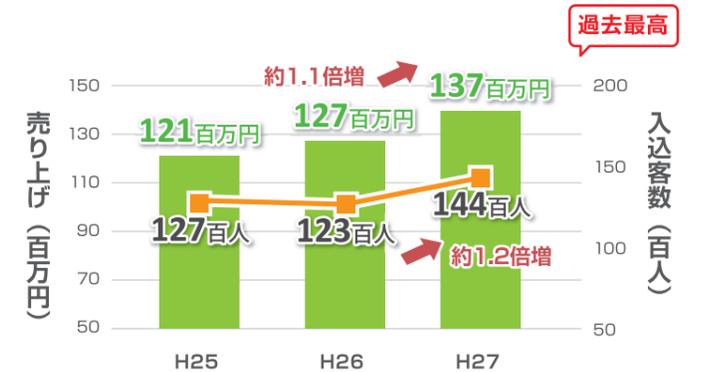
東九州道開通に伴い、福岡県や本州など県外からの来場が増え、過去最高の来場者を記録。*延岡市観光協会H28.2

▼ 東九州伊勢えび海道の入込客の地域別シェア



資料: 延岡観光協会

▼ 東九州伊勢えび海道の売上高 (9～12月)、入込客数



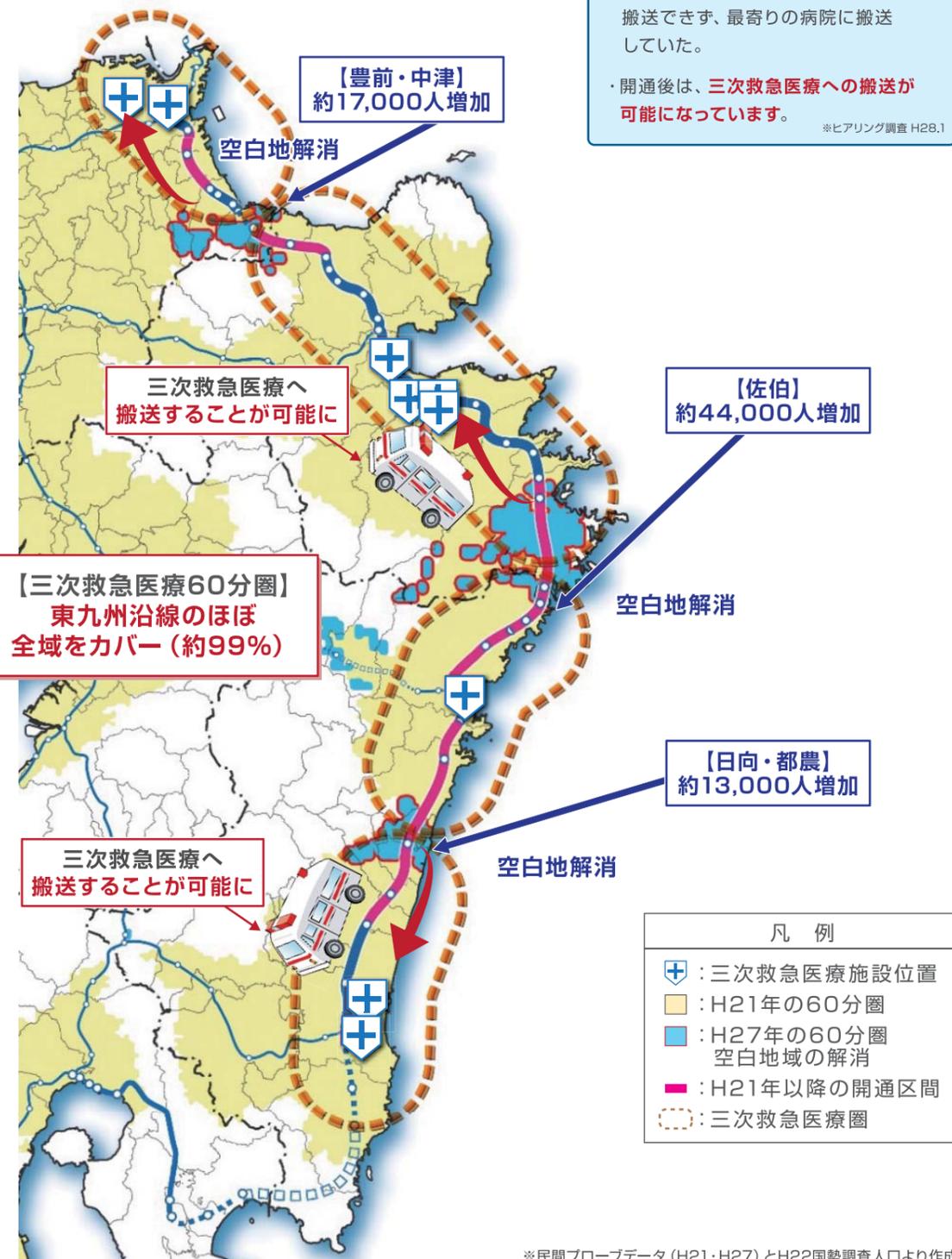
資料: 延岡観光協会

救急医療圏域が拡大

医療

■三次救急医療施設への60分圏域のカバー人口が約7万4千人拡大し、東九州沿線のほぼ全域をカバー（約99%）。

三次救急医療施設のカバー圏域拡大と救急医療体制の構築



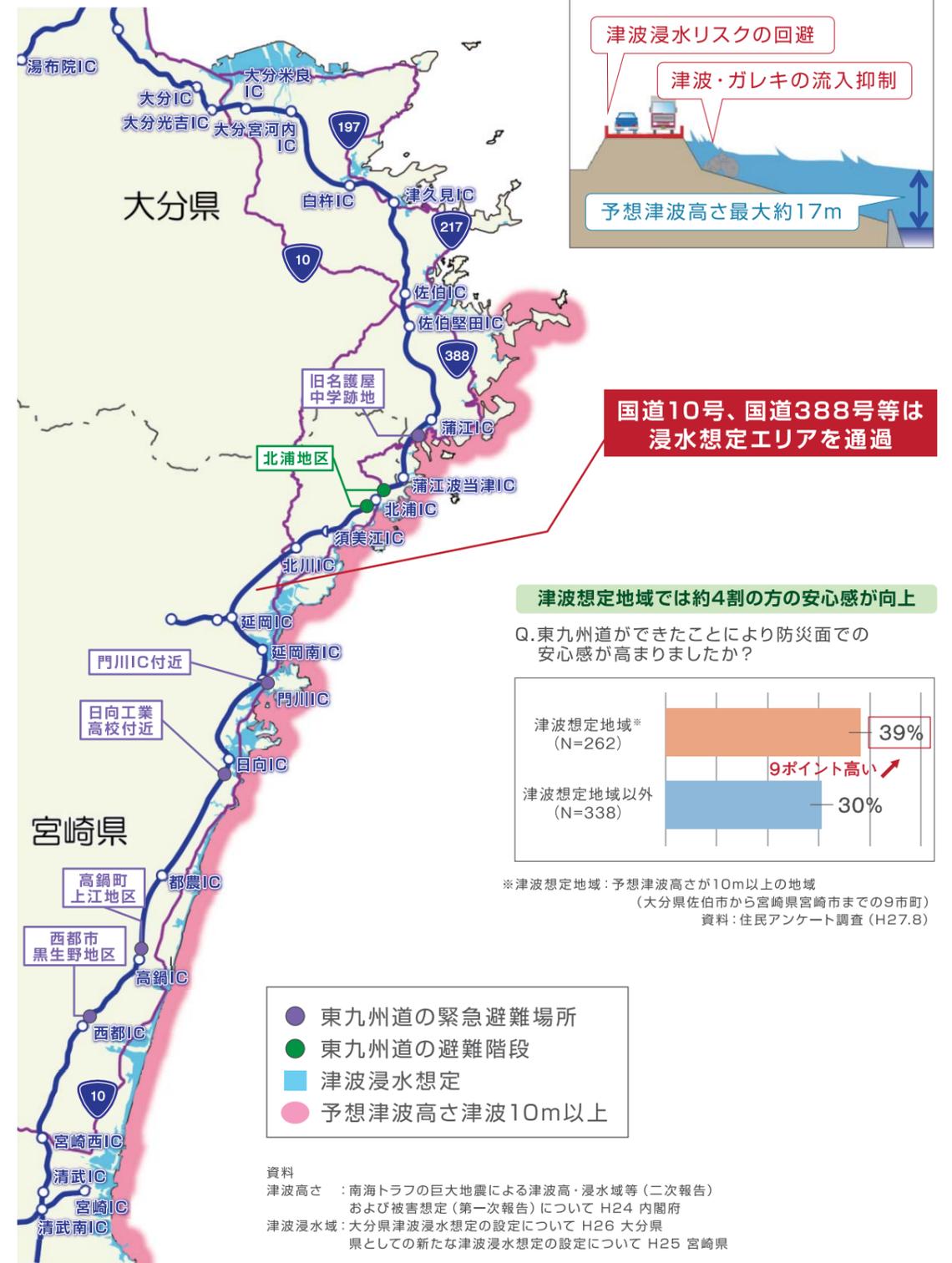
災害時の防災機能が向上

防災

■緊急避難場所や避難階段も設置され、災害に対する住民の安心感が向上。
■東九州道は津波に対して浸水リスクの回避など強靱性を有し、物流などの生産性向上に貢献。

東九州道の津波避難施設と津波浸水想定

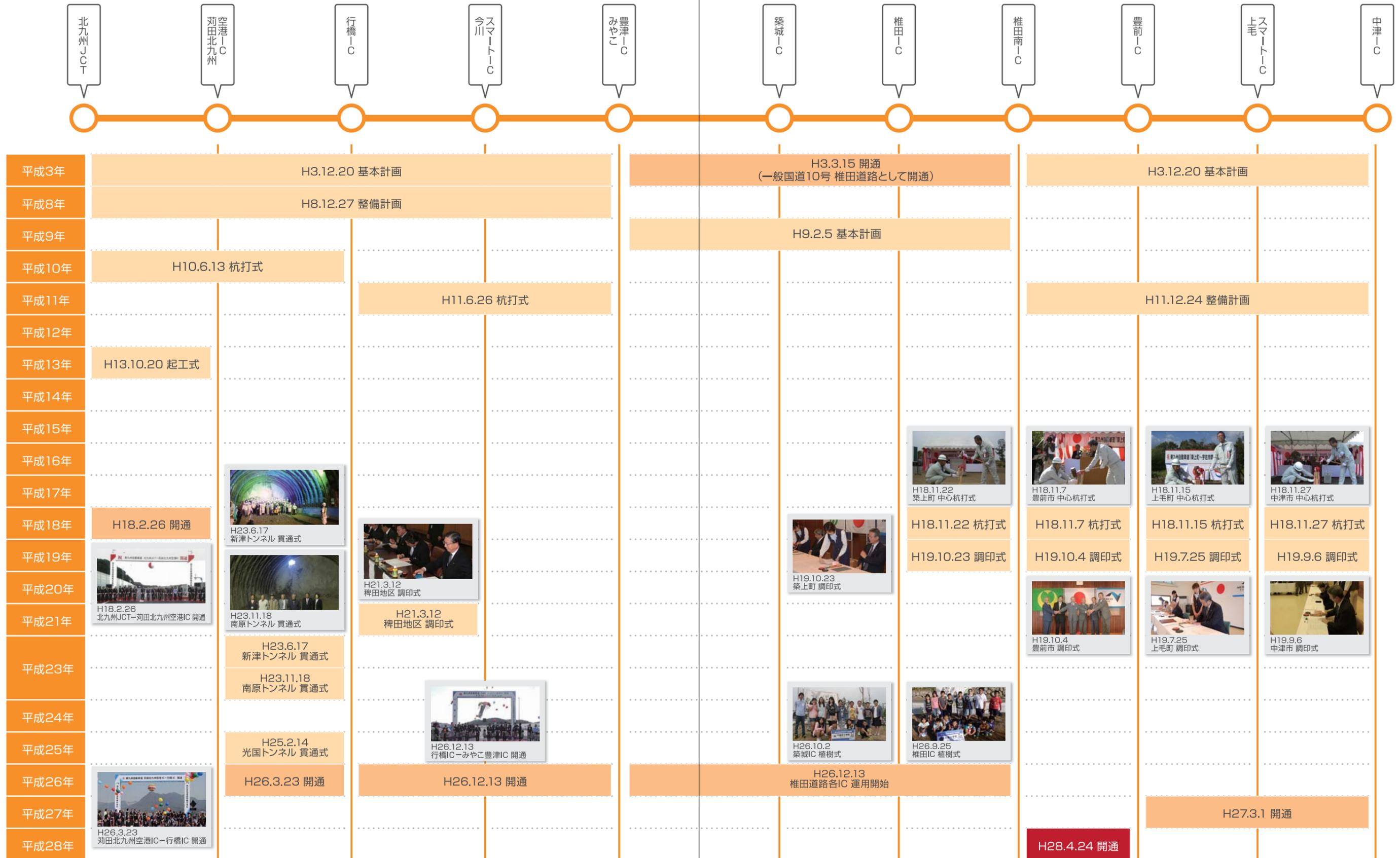
強靱性・防災機能の確保



北部九州に集積している自動車関連産業の多くが高速道路の沿線にあるため、循環型の高速道路ネットワーク整備が実現したことで、さらなる物流の効率化や工場の進出が期待されています。



北九州JCT



宮崎県においては、高速道路により南北に点在している観光地間の移動がスムーズとなったため、各地域がつながり連携して、観光客層を取り込むことが可能となりました。地域の活性化が期待されています。



清武JCT

